



1982-3

No. 162

【表紙】

あひるの子

ジョン・エヴァリット・ミレイ

解説は29ページ

題字デザイン・桑山弥三郎

カット・林美紀子

もくじ

飛鳥水落遺跡の調査 …狩野 久 4

地方美術館の課題 …財津 永次 7

随想

舞踊界の現況に想う …江口 博 10

北海道大学農学部第二農場
の保存修理を終わって…五味 盛重 12

報告

中国の漆見聞記 …見城 敏子 16

著作権政府間委員会等に出席して
…大山 幸房 18

文化庁ニュース

藤井久仁江氏らに芸術祭大賞……………21
昭和56年度包括宗教法人等管理者研究協議会
(東京会場)開催さる……………21
昭和57年度宗務課関係事業計画の概要……………22
昭和56年度地方文化施設職員研修会の開催……………23

展覧会

東山魁夷展…………… 24

釈迦信迎と清涼寺展…………… 25

ザオ・ウーキー展…………… 26

国語シリーズ① 「漢字の表記」に関する問題 28

新設法人紹介 (株)日本新工芸家連盟……………30

祭礼歳時記シリーズ②② 27 国立劇場ニュース 30

バレエがヨーロッパで発生した伝統的な舞
台舞踊であることは、いまさらいうまでもな
いが、その西欧芸術のバレエが初めて日本の
土壌に移し植えられたのは、わずかに七十年
前の大正元年にすぎない。しかし、その七十
年の間にバレエが着実に根づいて、順調に生
育し、発展してきたかという点、かならずし
もそうではなかった。

その事始めは帝国劇場が新しい舞台芸術の
創造を目ざして、日本オペラやバレエの上演
をもくろみ、高名なイタリア人のバレエ・マ
スター、G・V・ローシーを招き、ズブの業
人の研究生にバレエのイロハを教えさせたの
が、その発端である。

しかし、それは成功を見なかった。その主
たる原因は、まだ時期尚早で、日本人の体質
にもなじまなかったからだと思ふ。やがて失
意のうちにローシーは日本を去った。そんな
るともうバレエを教わろうにも教師がないと
いう始末で、双葉のうちに枯れてしまい、生
徒のひとりであった石井漢が、独習で独特の
モダンダンス（現代舞踊）を創始した、とい
う次第である。

以後の日本の舞踊界は、現在に至るまで、
バレエとモダンダンスとが併立して、あとい
もに発展した。それはアメリカを除けば日本

での戦時中の統制から解放されて自由を取り
もどし、奔放に創造活動を發揮して、アメリ
カと肩を並べるダンス王国にまで上昇する発
展をとげた。

ところで、こうして舞踊界の過去をかえり
みて思わされることは、バレエといわずモダ
ンダンスといわず、舞踊家がハングリ―精神
に堪え、よく独自の努力でここまで舞踊界を
発展させてきたことである。それは独立独行
みずからの手で達成した成果である。

しかし、それとともに忘れてはならないの
が、戦後まもなくの昭和二十一年から文部省
が施行した芸術祭の功績である。そこそこそ
初めて国が率先して舞台芸術に援護の手をさ
しのべた意味で、まさに画期的な奨励行事だ
った。それが戦火で荒廢した芸術界を刺激し、
芸術家たちを奮起させるにこれほど役立った
かは測り知れない。舞踊界もまた然りである。
舞踊芸術が陽のあたる場所に登場したのは、
芸術祭がはじめてだからである。

その芸術祭は、文化庁の創設とともに移管
されて現在で三十六回を重ね、それだけでも
芸術史上に大きな足跡を残したが、同時に、
たとえば舞踊界でも、いかに多くの俊英が授
賞の榮譽に輝いたことか。それにとりもなつて
文化庁が、舞踊界の向上発展に大きな援護力

独自の舞踊界の状況である。

ところでバレエは、伝統を遵守してその伝
承を基盤とする舞台舞踊である。ところがモ
ダンダンスは、舞台舞踊であることには変わ
りがないが、創造することを一義的に主眼と
する。とあれば日本人は、舞踊に関するかぎ
りでは、創造的才能に適し、その点ですぐれ
た才質を持つ民族であるともいえるか。

現にローシーが去ったあとのバレエの空白
時代に、舞踊界を支えて発展させたのがモダ
ンダンスだった。石井漢につづいて多くのモ
ダンダンサーがそれぞれ独自の創造活動を果



博 江口
(舞踊評論家)

に 想 う

舞 踊 界 の 現 況

随 想

となったことを今にして知る。これはお世辞
ではない。

そして、第二国立劇場の建設である。それ
は当初の予定よりも、諸般の事情でおくれ
ているが、近くその建設が完成することは問
違いない。そうならば、現代舞台芸術の殿
堂として、舞踊界の情勢も新しい段階に入る
ことが予想される。

というのが、第二国立劇場はその建造物だ
けが重要なのではなく、むしろ運営こそが問
題であつて、その実施方法の如何によつては、
現状の舞踊界に何ほどかの変化が生ずるであ

たして、戦前は特にモダンダンスの時代を形
成し、昭和九年にドイツから帰国した江口隆
哉・宮操子夫妻が、ドイツ流のモダンダンス
の新しい血を注ぎこんでさらに発展をとげ、
それが現在にもおよんでいる。

いっぽうバレエは長く空白の時代がつづき
ロシアから亡命したエリアナ・パプロワとか
革命後のソビエトから来日して定住したオリ
ガ・サファイヤによつてバレエダンサーが育
成され、かろうじてその根が保たれたが、そ
のバレエがにわかに活況を呈し、現在の隆昌
の端緒をひらいたのは終戦からである。その
第一弾は昭和二十一年の八月、それまでの戦
時下にあつて物心ともに苦境に堪えてほそぼ
そとバレエの灯をともし続けていたバレエ舞
踊家が、このときとばかりに結集して東京バ
レエ団を組織し、古典バレエの「白鳥の湖」
全幕をはじめ長期公演したことに始まる。

以後バレエ界は燎原の火のごとく燃えさか
り、ついに現在のように、たとえばバレリー
ナとして国際的に羽ばたく森下洋子とか大原
永子らを生み、バレエ団もいちじるしく成長
して、もはや世界的に見てもさほど大きくお
くれをとらないまでに向上発展した。世界の
一流に伍するにはもうあと一歩である。
モダンダンスもまた終戦を契機に、それま

ろうことが考えられるからである。舞踊界も
その結果がどうなるかを、多少の危惧は感じ
ながらも明るい見とおして、その実現を今や
おそしと待望している現状であろうと思われ
る。

それにしてもこの国立劇場は、諸外国のそ
れとは設立の事情がいちじるしくちがう。外
国の国立劇場は民間でまだバレエが興隆しな
い前期にいち早く設立を見た関係で、国立劇
場そのものが率先してバレエの発展をリード
してきた。しかし、日本では、すでに民間で
発展している現状のなかで、国立劇場の建設
を見るのである。その相違は運営の点で大い
に配慮すべき問題であろう。

まして七十年という短いようで長い期間を、
民間人の努力によつて営々と独自に発展させ
た舞踊芸術である。その事実を考えると、国
立劇場が竣工したあかつきでも、その民間人
の手で咲かせた舞踊芸術の花をよりいっそう
大輪の花とさせるために、国立劇場と民間と
が手を取り合つて共存共栄の方策を考えるべ
きであると思われる。

編集後記

○三月になるとさすがに日ざしも春めいて、葉を落とした木々の枝には小さな芽が一斉に芽吹きを待っているようです。桜の開花前線が移動を始めるのも間近、各地の花だよりも賑やかになることでしょう。

○奈良国立文化財研究所は昨年十二月、奈良県明日香村にある史跡水落遺跡から我が国最古の水時計の漏刻台遺構が出土したと発表しました。約千三百年前に水時計が実在したことを証明したことになり、新聞などで、中大兄皇子の時計台発掘・日本書紀を裏付け、等大きく報道されたことを御記憶のことと思います。この発掘調査に当たりました同研究所の狩野部長に解説していただきます。

○最近地方美術館ブームといわれるほど各地で美術館の建設が盛んです。立派な施設ができて管理運営上の問題がいろいろ指摘されています。福岡市美術館の財津副館長に、地方美術館のあり方などを論じていただきました。

広告の問合せ・申込み先

株式会社 きょうせい 営業課
TEL(〇三)三六八二二四一(代表)

「文化庁月報」三月号

(通巻第一六二号)
昭和57年3月25日印刷・発行

編集文化庁

〒100東京都千代田区霞が関3丁目2番2号
発行所 株式会社 きょうせい

本社 〒100東京都千代田区千代田7丁目4番12号
営業所 〒100東京都千代田区西新町52番地

電話 (〇三)二六八二二四一(代表)

振替口座 東京 九一六二番
印刷所 (株)行政学会印刷所

定価 一八〇円(送料四五円)
年間購読料 二、一六〇円(送料共)